

平成29年 藤枝市議会2月定例会

健康福祉委員会委員長報告書

(議案審査)

平成29年3月1日

[本 会 議]

健康福祉委員会に付託されました、議案4件の審査の経過と結果について、主な質疑を中心に御報告いたします。

最初に、第13号議案「平成28年度 藤枝市 一般会計 補正予算（第6号）」のうち、本委員会に分割付託されました費目について、申し上げます。

歳出で、はじめに「3款1項10目、臨時福祉 給付金等給付事業費の年金生活者等支援臨時福祉給付金について、当初見込み2,500人から800人に減らす理由を伺う。また、他の臨時福祉給付金の対象となる方も、受け取っているのか伺う。」という質疑があり、

これに対して、「障害基礎年金と遺族基礎年金の対象者数は2,500人だが、4月から実施された高齢者分の給付金を受給した人は対象外となるため、800人の見込みとなった。給付金対象者には、個別に通知しており、民生委員にも声掛けをしてもらい周知したが、他の臨時福祉給付金もほぼ前年度並みの申請状況である。」という答弁がありました。

次に、「3款3項2目、子ども・子育て推進費の認定こども園施設型給付費について、増額補正の理由を伺う。」という質疑があり、

これに対して、「認定こども園に限り、新たに給付費に係る加算項目が追加されたためである。その主な加算項目は、保育士を基準以上に配置している場合に加算される『指導充実対応加算』や、基準以上に事務職員を配置している場合に加算される『事務負担対応加算』などである。」という答弁がありました。

次に、「4款1項6目、保健推進事業費の健康診査費について、減額補正の理由と今後の取組を伺う。」という質疑があり、

これに対して、「がん検診については、5月から11月末まで実施しているが、結果的に受診者が見込みよりも少なかったことが主な理由である。受診されない方々は、がんと診断されるのが怖い、仕事の都合など様々な理由があるが、今後も、がん検診によりがんの早期発見、早期治療ができることや、これにより健康の維持や、医療費に係る経済的負担の軽減に繋がるなどのメリットを積極的に啓発していきたい。」という答弁がありました。

以上のような審査を経て、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第14号議案「平成28年度 藤枝市 国民健康保険事業 特別会計 補正予算（第2号）」について、申し上げます。

一委員より「歳入の9款1項1目、一般会計繰入金の、その他繰入金について、国の特別調整交付金の市町の国保保険者としての経営努力分、いわゆる『特々調』分への影響を伺う。」という質疑があり、

これに対して、「その他赤字繰り入れによる影響としては、国保の特別会計が赤字かどうか、その他繰り入れによる赤字補てんがあるかは、『特々調』ではマイナスの評価とされる。

しかし、国は、この点だけで『特々調』を決定することなく、国保経営のほかの取組と

共に、総合的に判断し、『特々調』の交付を決定する。」という答弁がありました。

このほか質疑もなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第18号議案「平成28年度 藤枝市 介護保険 特別会計 補正予算（第2号）」について、申し上げます。

質疑もなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第19号議案「平成28年度 藤枝市 後期高齢者医療 特別会計 補正予算（第1号）」について、申し上げます。

一委員より「歳入の4款1項1目、延滞金について、内訳を伺う。」という質疑があり、これに対して、「1月末現在で、全体では、147件で、約92万円、このうち一人の方が15件で、約58万円である。」という答弁がありました。

このほか質疑もなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告いたします。